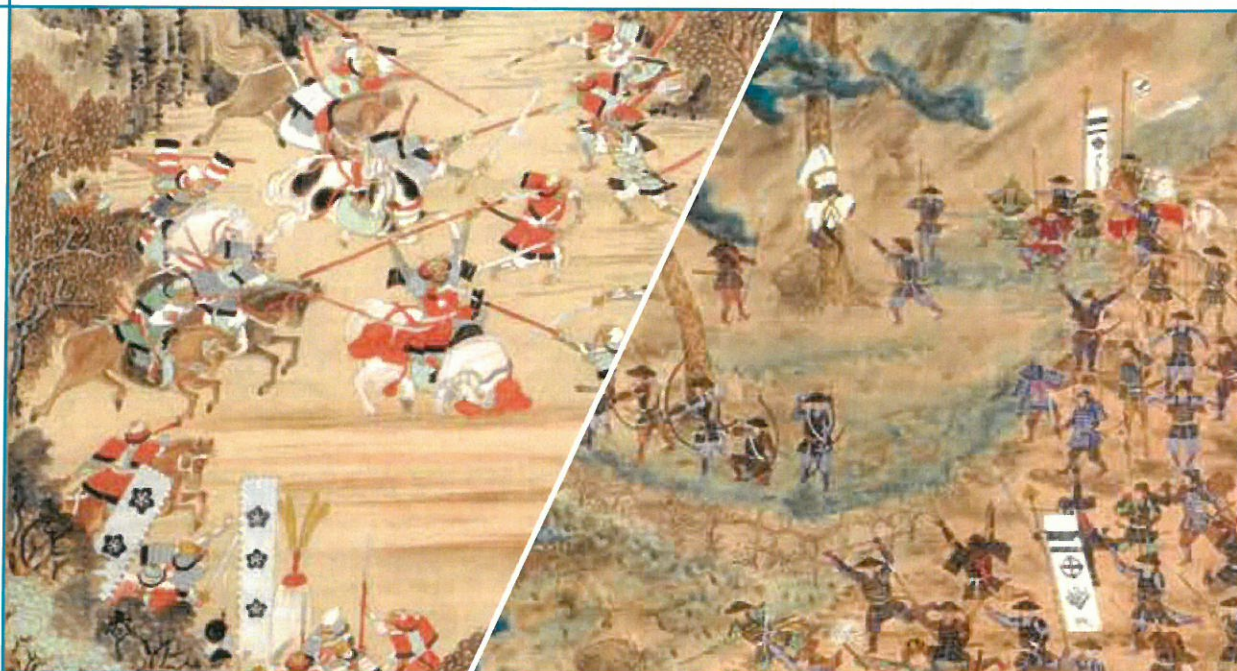


敵は本能寺にあり

鍵は丹波篠山にあり



左：高城山合戦図 右：光秀の母はりつけ図（誓願寺所蔵）

2020年 **9月19日(土)** 13:30開演
(13:00開場)

13:30~14:30 講演 きりの さくじん 桐野作人氏
演題「丹波と光秀と信長」

14:30~14:50 休憩

14:50~15:50 講談 きよどう なんざえもん 旭堂南左衛門氏
1席：創作講談 演目
「明智光秀丹波攻め秘話～母お牧の遺訓」
2席：古典講談 演目
「山崎合戦に観る明智光秀と秀吉」

場 所：丹波篠山市立 **田園交響ホール**

住 所：兵庫県丹波篠山市北新町41

料 金：無料

客席数：373席（先着順、定員になり次第）
締切とさせていただきます

駐車場：三の丸駐車場（無料）

予約申込み：手続きの必要はなく全て自由席です

問い合わせ先：兵庫県丹波篠山市商工観光課 TEL：079-552-1111(代)



裏面に続く

講演

「丹波と光秀と信長」

明智光秀による丹波攻めは天正3年(1575)から同7年まで4年に及んだ。その間、丹波国衆は織田政権に従うか戦うかの選択を迫られた。波多野、赤井などが光秀と長く戦い、光秀を苦戦に追い込む。最大の焦点は丹波八上城の攻防だった。その経緯と結末を紹介する。



講師：歴史作家 桐野作人 氏(きりの さくじん)

1954年、鹿児島県生まれ。歴史作家、武蔵野大学政治経済研究所客員研究員。戦国・織豊期や戦国島津氏・幕末薩摩藩を中心に執筆・講演活動を行う。

主な著書に『織田信長―戦国最強の軍事カリスマ―』『だれが信長を殺したのか』『関ヶ原 島津退き口』『龍馬暗殺』『明智光秀と斎藤利三』など

講演

1席：創作講談

演目「明智光秀丹波攻め秘話～母お牧の遺訓」

織田信長の命で丹波を攻める明智光秀を訪ねた母・お牧が戦の意味を問うた。

「本能寺の変」はここから始まった。

2席：古典講談

演目「山崎合戦に観る明智光秀と秀吉」

光秀の最期となる戦。主君信長の仇を奉じる為に備中高松から駆け付けた秀吉と光秀の心中を、その人となりを申し上げます。



講談師：上方講談師 旭堂南左衛門 氏(きょくどう なんざえもん)

1954年、兵庫県三田市生まれ。昭和51年、三代目旭堂南陵に入門、南学を貫く。

第8回咲くやこの花賞受賞(大阪市)。東京国立演芸場 花形演芸会金賞受賞(東京都)。

上方講談協会会長。丹波篠山ふるさと大使。

「明智光秀丹波攻め秘話～母お牧の遺訓」の作家
上方噺研究家 狐狸窟彦兵衛 氏(こりくつ ひこべえ)

1958年、兵庫県生まれ。読売新聞大阪本社社会部記者、大阪成蹊大学非常勤講師。著書「笑福亭純瓶と行く上方噺三十六景、落語散策そぞろ歩き」(レベル刊)。作品 旭堂南左衛門師に講談「大石順教尼物語」「淀殿始末」などを提供、落語作品には「久米仙人」「青衣の女人」「瓦版」など。

《ご来場のお客様にお願い》

※新型コロナウイルス感染予防の対策として、必ずマスク着用のうえ、ご来館ください。また3密を防止し、席の列間隔を確保して座っていただきます。場合によっては、今後の新型コロナウイルス感染状況により、延期もしくは中止になる可能性もございますので、前日までに、問い合わせ先(兵庫県丹波篠山市商工観光課 TEL：079-552-1111(代) 平日8:30～17:30)に連絡し、ご確認をお願いします。